

1 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の  
2 重要度のランク表について（案）  
3

4 食品安全委員会は、「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食  
5 品健康影響に関する評価指針」に添って、飼料添加物及び動物用医薬品に起因する薬剤  
6 耐性菌の食品健康影響を評価する際に用いる基礎資料として、別紙のとおり「食品を介  
7 してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク表」を作成し  
8 た。

9 このランク表は、現在、日本においてヒト用に使用されている代表的な抗菌性物質に  
10 ついて、以下の基準により、その重要度を3段階に分類したものである。

11 なお、食品安全委員会では、薬剤耐性のパターンやレベルの変化、新規の抗菌性物質  
12 の開発や抗菌性物質に関する新たな科学的知見等が明らかになった時には適宜、以下の  
13 基準及び本ランク表を見直すこととしている。

14  
15 1. 重要度の基準

16 日本化学療法学会及び日本感染症学会等が示す各種治療の手引きを基にして、現在の  
17 日本におけるヒト用抗菌性物質の医療上の重要度を疾病、抗菌性物質の抗菌活性、薬剤  
18 耐性菌が選択された場合の代替薬の有無の観点から、次の3段階で表すこととした。

19  
20 : きわめて高度に重要

21 ある特定のヒトの疾病に対する唯一の治療薬である抗菌性物質又は代替薬が  
22 ほとんど無いもの。

23 深刻な疾病の原因菌に対して抗菌活性を有する新しい抗菌性物質が含まれる。

24 : 高度に重要

25 当該抗菌性物質に対する薬剤耐性菌が選択された場合に、同系統又は異なった  
26 系統において、有効な代替薬があるが、 にランク付けされる物質よりも、その  
27 数が少ない場合。

28 : 重要

29 当該抗菌性物質に対する薬剤耐性菌が選択された場合にも、同系統又は異なっ  
30 た系統に有効な代替薬が十分にあるもの。

31  
32  
33 2. 「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のラン  
34 ク表」(別紙)  
35

- 1 3. 参考資料
- 2 水島裕 編. 今日の治療薬 2004 年版解説と便覧. 南工堂. (2004)
- 3
- 4 日本感染症学会, 日本化学療法学会 編. 抗菌薬使用の手引き. 協和企画. (2004)
- 5
- 6 日本抗生物質学術協議会, 八木澤守正 監. 最新「抗菌薬」一覧表. Medicament News
- 7 2004 年 7 月 25 日付け第 1806 号付録. ライフ・サイエンス. (2004)
- 8
- 9 戸塚恭一, 橋本正良 監. 日本語版 サンフォード感染症治療ガイド 2005 (第 35 版).
- 10 ライフサイエンス出版. (2005)

(別紙)

食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク表

系統・成分名	ランク	コメント
<b>1 アミノグリコシド系</b>		
<b>アストロマイシン系</b>		
アストロマイシン		
<b>カナマイシン系</b>		
アミカシン		ゲンタマイシン及びトブラマイシン耐性グラム陰性菌による感染症治療に有効である。
アルベカシン		メチシリン・セフェム耐性黄色ブドウ球菌による感染症治療に有効である。
トブラマイシン		緑膿菌による感染症治療に有効である。
カナマイシン		
ジベカシン		
ベカナマイシン		
<b>ゲンタマイシン・シソマイシン系</b>		
ゲンタマイシン		緑膿菌による感染症治療に有効である。
ネチルマイシン		ゲンタマイシン及びトブラマイシン耐性グラム陰性菌による感染症治療に有効である。
イセパマイシン		
シソマイシン		
ミクロノマイシン		
<b>ストレプトマイシン系</b>		
ストレプトマイシン		結核菌による感染症治療に有効である。
<b>スペクチノマイシン系</b>		
スペクチノマイシン		
<b>フラジオマイシン系</b>		
フラジオマイシン (ネオマイシン)		
リボスタマイシン		

系統・成分名	ランク	コメント
<b>2 セファロスポリン</b>		
<b>オキサ型</b>		
フロモキシセフ		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
ラタモキシセフ		
<b>第1世代</b>		
セファクロル		
セファゾリン		
セファトリジン		
セファドロキシシル		
セファピリン		
セファレキシシ		
セファロチン		
セファロリジン		
セフォチアム		
セフテゾール		
セフラジン		
セフロキサジン		
<b>第2世代</b>		
セファマンドール		大腸菌、肺炎桿菌等のグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。
セフチゾキシム		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフミノクス		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフメタゾール		大腸菌、肺炎桿菌等のグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。
セフロキシム		大腸菌、肺炎桿菌等のグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。

系統・成分名	ランク	コメント
<b>第3世代</b>		
セフォペラゾン		緑膿菌による感染症治療に有効である。
セフスロジン		緑膿菌を含むグラム陰性菌による感染症治療に有効である。
セフトアジジム		緑膿菌による感染症治療に有効である。
セフトリアキソン		他の第3世代セファロスポリンに比べて、血中半減期が長く治療効果が持続する。
セフピラミド		緑膿菌を含むグラム陰性菌による感染症治療に有効である。
セフィキシム		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフェタメトピボキシル		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
セフォジジム		グラム陰性菌による感染症治療に有効である。
セフォタキシム		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフォテタン		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフカペンピボキシル		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
セフジトレンピボキシル		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
セフジニル		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
セフブペラゾン		嫌気性菌による感染症治療に有効である。
セフメノキシム		緑膿菌による感染症治療に外用で用いられている。
セフチブテン		
セフテラムピボキシル		
セフポドキシム		
<b>第4世代</b>		
セフェピム		緑膿菌を含むグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。
セフォセリス		緑膿菌を含むグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。
セフォゾبران		緑膿菌を含むグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。
セフピロム		緑膿菌を含むグラム陰性菌及びグラム陽性菌による感染症治療に有効である。

系統・成分名	ランク	コメント
<b>3 テトラサイクリン系</b>		
<b>活性強化型</b>		
ドキシサイクリン		他のテトラサイクリン系製剤に比べて、血中半減期が長く治療効果が持続する。
ミノサイクリン		他のテトラサイクリン系製剤に比べて、血中半減期が長く治療効果が持続する。
<b>天然型</b>		
オキシテトラサイクリン		
テトラサイクリン		
デメチルクロルテトラサイクリン		
<b>4 ペニシリン系</b>		
<b>天然型</b>		
ベンジルペニシリン		
<b>ペニシリナーゼ抵抗性</b>		
オキサシリン		
クロキサシリン		
ジクロキサシリン		
ナフシリン		
メチシリン		
<b>広域型</b>		
アモキシシリン		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
アンピシリン		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられている。
チカルシリン		他のペニシリン系製剤に比べて、緑膿菌による感染症治療に有効である。
ピペラシリン		他のペニシリン系製剤に比べて、緑膿菌による感染症治療に有効である。
アスポキシシリン		
シクラシリン		
スルベニシリン		
タランピシリン		
バカンピシリン		

系統・成分名	ランク	コメント
ピブメシリナム		
レナンピシリン		
<b>耐酸性</b>		
フェネチシリン		
<b>5 その他のβ-ラクタム系</b>		
<b>β-ラクタマーゼ阻害薬配合剤</b>		
タゾバクタム / ピペラシリン		緑膿菌による感染症治療に有効である。また、グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
クラブラン酸 / アモキシシリン		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
スルバクタム / アンピシリン		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
スルバクタム / セフォペラゾン		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
トシル酸スルタミシリン		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
<b>カルバペネム系</b>		
イミペネム / シラストチンナトリウム		緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌及び基質拡張型β-ラクタマーゼ生産菌による感染症治療に有効である。
パニペネム / ベタミプロン		緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌及び基質拡張型β-ラクタマーゼ生産菌による感染症治療に有効である。
ビアペネム		緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌及び基質拡張型β-ラクタマーゼ生産菌による感染症治療に有効である。
メロペネム		緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌及び基質拡張型β-ラクタマーゼ生産菌による感染症治療に有効である。
<b>ペネム系</b>		
ファロペネム		
<b>モノバクタム系</b>		
アズトレオナム		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。
カルモナム		グラム陰性菌が産生する各種β-ラクタマーゼに対して安定である。

系統・成分名	ランク	コメント
<b>6 マクロライド系</b>		
<b>14～16員環</b>		
アジスロマイシン		マイコプラズマ、クラミジア、レジオネラ菌による感染症治療に有効である。また、14～16員環マクロライドの中で、血中半減期が長く治療効果が持続する。
クラリスロマイシン		マイコプラズマ、クラミジア、レジオネラ菌による感染症治療に有効である。
エリスロマイシン		COPD（慢性閉塞性肺疾患）治療に有効である。
ロキシスロマイシン		
キタサマイシン		
ジョサマイシン		
スピラマイシン		
ミデカマイシン		
ロキタマイシン		
<b>ケトライド系</b>		
テリスロマイシン		他のマクロライド耐性肺炎球菌による感染症治療に有効である。
<b>リンコマイシン系</b>		
クリンダマイシン		ペニシリン耐性肺炎球菌による感染症治療に有効である。
リンコマイシン		
<b>7 ペプチド系</b>		
<b>グリコペプチド系</b>		
テイコプラニン		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌による感染症治療に有効である。
バンコマイシン		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌による感染症治療に有効である。
<b>ポリペプチド系</b>		
コリスチン		
バシトラシン		
ポリミキシン B		

系統・成分名	ランク	コメント
<b>8 スプトレプトグラミン</b>		
キヌプリスチン/ダルフォプリ スチン		バンコマイシン耐性腸球菌による感染症治療 に有効である。
<b>9 クロラムフェニコール</b>		
クロラムフェニコール		
チアンフェニコール		
<b>10 その他の抗生物質</b>		
ホスホマイシン		小児の腸管出血性大腸菌O157感染症治療に有 効である。
ムピロシン		鼻腔内のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の除 去に有効である。
フシジン酸		
<b>11 キノロン系</b>		
<b>オールドキノロン系</b>		
シノキサシン		
ナリジクス酸		
ピペミド酸		
ピロミド酸		
<b>フルオロキノロン系</b>		
シプロフロキサシン		緑膿菌による感染症治療に有効である。治療 の途中で投与方法を変更して、薬効を強める 「スイッチ療法」に用いることができる。
トスフロキサシン		サルモネラ菌による感染症治療に有効であ る。
ノルフロキサシン		フルオロキノロン系の中で、唯一小児に適応 することが可能である。
パズフロキサシン		治療の途中で投与方法を変更して、薬効を強 める「スイッチ療法」に用いることができ る。
プルリフロキサシン		緑膿菌による感染症治療に有効である。
レボフロキサシン		汎用性が高く、臨床現場で広く用いられてい る。
ガチフロキサシン		肺炎球菌による感染症治療に有効である。

系統・成分名	ランク	コメント
スパルフロキサシン		肺炎球菌による感染症治療に有効である。
エノキサシン		
オフロキサシン		
フレロキサシン		
ロメフロキサシン		
<b>1 2 スルホンアミド系</b>		
スルファメトキサゾール/トリメトプリム		グラム陰性桿菌や腸チフス菌等による感染症及びカリニ肺炎治療に有効である。
サラゾスルファピリジン		
スルファジアジン		
スルファジメトキシシン		
スルファメチゾール		
スルファメトキサゾール		
スルファモノメトキシシン		
スルフィソキサゾール		
スルフィソミジン		
<b>1 3 オキサゾリドン系</b>		
リネゾリド		バンコマイシン耐性腸球菌による感染症治療に有効である。
<b>1 4 抗結核薬</b>		
イソニアジド		結核治療の選択薬
エチオナミド		結核治療の選択薬
サイクロセリン		結核治療の選択薬
ピラジナミド		結核治療の選択薬
リファンピシン		結核治療の選択薬
塩酸エタンブトール		結核治療の選択薬
エンビオマイシン		
グラミシジンS		